

毎号、さまざまな切り口で現代ニッポンの教育や子育てに関連したニュースをお届け！

北米に住む帰国子女向け
ニューヨークエリア唯一の月刊教育新聞

「edu sun」

毎月知れる “ニッポンの教育&子育て情報”
 帰国便利帳 × DAILYSUN NEW YORK
 月刊 edu sun エデュサン 2016年8月
 今月の「こが知りたい！」
 現在15歳の子どもには
 将来、国際的に活躍できる
 人材育成に力を入れた
 大学に進んでほしい...
 で、日本の文部科学省が採択した
 “スーパーグローバル大学”って
 いったいどんな大学なの？
 知りたい方は
 次ページへ！

2016年8月号
No.64



滞在中から知っておきたい日本の教育！
帰国便利帳 × DAILYSUN NEW YORK

毎月知れる“ニッポンの教育&子育て情報”

「プログラミング教室」が通わせたい習い事の上位に！ 習い事を選ぶ基準は「本人の希望」よりも「将来のため」

eラーニングに関するさまざまなコンテンツを提供する「株式会社イー・ラーニング研究所」（本社・大阪府吹田市）が、子どものいる20～50代の親486人を対象に行った「子どもの習い事・必要なスキルに

関するアンケート」の結果を発表した。今回の調査結果によると、全体の約85%の親が「子どもに習い事をさせている（いた）」と回答。学習塾やピアノ、水泳といった定番の習い事をはじめ、子

どもに何かしらの習い事をさせることが当たり前になっているようだ。「何の習い事をさせていますか（させていましたか）？」という問いでは、第1位が「スポーツ系」（219人）、第2位が「学習塾」（201人）、第3位が「音楽系」（172人）という結果に。何の習い事をさせたのですか（させたか）？という問いでは、第1位が「英会話スクール」（192人）、第2位が「プログラミング教室」（109人）、

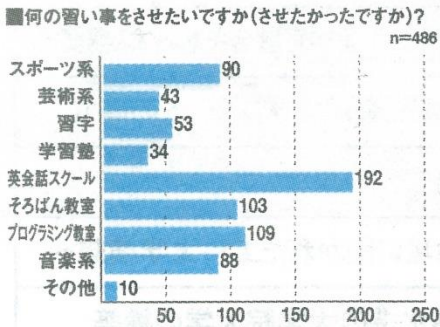
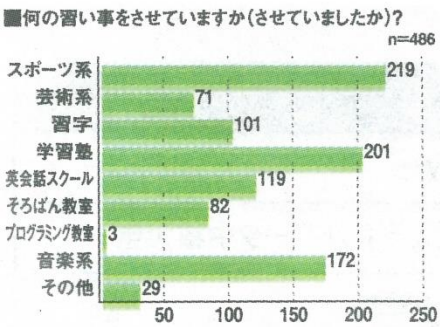
第3位が「そろばん教室」（103人）となった。実際に通わせている人数こそ3人と少数だったが、「させたい（させなかった）」習い事の第2位に「プログラミング教室」（109人）がランクインしており、その関心の高さが浮き彫りに。2020年から小学校でのプログラミング教育が必修化されることから、今後さらに同教室の需要が高まっていくと考えられる。

「なぜその習い事をさせていますか（させていましたか）？」という問いには、半数にあたる50.6%の親が「将来のため」（41.4%）と回答。次いで、「本人の希望」（10.9人）、

第3位が「そろばん教室」（103人）となった。実際に通わせている人数こそ3人と少数だったが、「させたい（させなかった）」習い事の第2位に「プログラミング教室」（109人）が

スキルを身に付けさせてあげたいという親心が、習い事を選択する動機づけになっているようだ。

また、「子どもに必要な、社会人になってからも必要なスキルが上位に選ばれる結果となった。（取材／文・松井さおり）



調査地域：全国 調査対象：20代～50代の子どものいる親（男女486名）（イー・ラーニング研究所調べ）

室」（109人）、第2位が「プログラミング教室」（109人）、第3位が「そろばん教室」（103人）となった。実際に通わせている人数こそ3人と少数だったが、「させたい（させなかった）」習い事の第2位に「プログラミング教室」（109人）がランクインしており、その関心の高さが浮き彫りに。2020年から小学校でのプログラミング教育が必修化されることから、今後さらに同教室の需要が高まっていくと考えられる。「なぜその習い事をさせていますか（させていましたか）？」という問いには、半数にあたる50.6%の親が「将来のため」（41.4%）と回答。次いで、「本人の希望」（10.9人）、第3位が「そろばん教室」（103人）となった。実際に通わせている人数こそ3人と少数だったが、「させたい（させなかった）」習い事の第2位に「プログラミング教室」（109人）が

